

社会見学（1学年）

1 学年主任 三田村祐二

入学以来、初めての大きかりな学年全体での校外学習となる「社会見学」が6月20日に行われました。

これは、「地域を知ろう」という生活単元学習で、自分の出身市町村と札幌市や新篠津村との違い、新篠津村の街の様子などを学んだ仕上げの学習です。

今回、まずは石狩湾新港の北電 LNG 発電所を学年全体で見学しました。昨年の胆振東部地震の影響もあり、エネルギー問題に関心をもつ生徒も多く、意義深い学びができました。

完成したばかりの発電所で、学校関係の受け入れは初めて・・・ということもあり、ベテランの案内係の方がついてくれました。

大きな大きな LNG のタンクが立ち並び、小さいとは言えない発電所の建物が小さく感じるほどでした。プロジェクションマッピングを用いた発電の様子などの説明はわかりやすく、生徒たちにとっても良い経験になったのではないかと思います。発電機のタービンがまわる轟音にもびっくり、屋上の風の強さにもびっくりでした。

発電所見学の後は各学科に分かれて自主研修とお楽しみの昼食です。

道立近代美術館に行く学科、新札幌の青少年科学館に行く学科、大倉山のオリンピックミュージアムに行く学科・・・。宮の沢の白い恋人パークに行く学科、苗穂の酪農と乳の歴史館に行った学科もありました。

後日、研修のまとめの報告を学科ごとに発表しました。聞いてみると、生徒一人一人が日常の生活の中では経験することのできない学びをしてきていることに驚かされました。

それぞれの学科の廊下には、報告会で使用した掲示物が張り出してあります。来校の際には、是非御覧下さい。

